

トピックス

インフルエンザウイルス分離速報

平成 14 年 12 月 25 日現在、豊川保健所田原支所管内と蒲郡支所管内の病院において平成 14 年 11 月下旬から 12 月上旬にかけて採取された検体から、A 香港型インフルエンザウイルスが 11 株分離されました。抗原性はすべて今シーズン（2002 / 03 シーズン）のワクチン株と類似していました。



[厚生労働省インフルエンザ対策キャンペーンホームページ](http://influenza-mhlw.sfc.wide.ad.jp/)

インフルエンザ Q & A、キャンペーンポスターなどがダウンロードできます。

<http://influenza-mhlw.sfc.wide.ad.jp/>

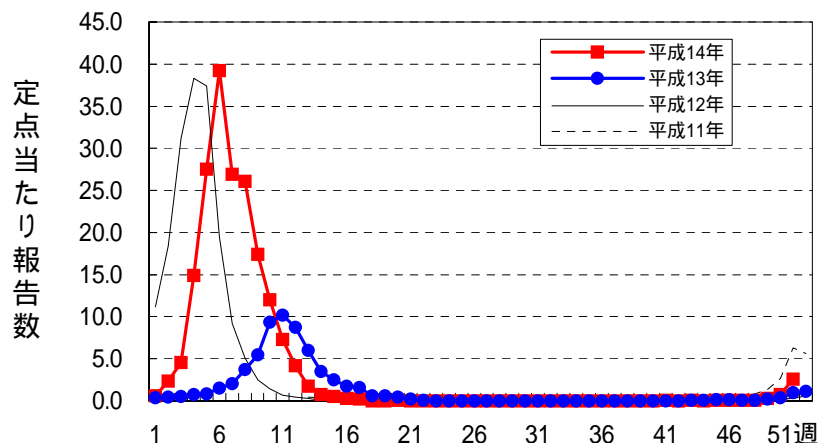
流行状況

インフルエンザ *12月26日付でインフルエンザ注意報を発表しました。

定点当たりの報告数は 2.60（前週 0.73）と**更に増加**

インフルエンザの予防には**ワクチンの接種**が有効です。一般に、ワクチンを接種しておくこと、たとえインフルエンザを発症しても、軽症で経過することが期待できます。ただし、ワクチンの十分な効果を得るためには、早目に接種されることをお勧めします。

インフルエンザ



感染性胃腸炎

定点当たりの報告数は 11.2 (前週 12.3) と**同程度に推移**

水痘 (みずぼうそう)

定点当たりの報告数は 2.37 (前週 3.19) と**やや減少**

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 *レンサ球菌のうち血清型分類のA群に分類されるものによる上気道感染症

定点当たりの報告数は 1.11 (前週 1.17) と**同程度に推移**

マイコプラズマ肺炎 *マイコプラズマとよばれる病原体による空咳と胸痛が特徴的な肺炎

基幹定点から **4例** の患者報告あり。

5定点 から**コメント**での患者発生報告あり。

感染症についての説明及びグラフ総覧については、
愛知県衛生研究所のホームページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/>)

定点の先生方からのコメント

尾張西部地区

病原性大腸菌 O25 2歳

インフルエンザ様の患者さんが増加しております。迅速テストでは(-)でしたが、タミフル^{*1}の使用で症状の改善が著しい様子から、インフルエンザではないかと考えております。HI法は提出しておりませんが、迅速テストでは温度が低い時には、その判定にバラつきがある様に思われ、又製品によってもバラつきがあり、参考所見にはなりますが、迅速診断には至らないという印象を受けます。

(尾西市 城後小児科)

*1 タミフル：インフルエンザ治療薬

犬山東部でインフルエンザA型の流行が始まっています。

(犬山市 武内医院)

1歳女 病原性大腸菌 O125 VT(-)

39歳母親、1歳男 インフルエンザA(インフルA・B-クイックで陽性)とともにワクチン接種あり。タミフル内服にて翌日解熱しました。

(江南市 みやぐちこどもクリニック)

A型インフルエンザ 23名(インフルABクイックで確認)シンメトレル^{*2}で著効なるも、あとでもう一度 fever up 例も目立ちます。ワクチン未接種者にその傾向あり。

(岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック)

*2 シンメトレル：インフルエンザ治療薬

1歳女 マイコプラズマ肺炎

胃腸かぜ及び乳児嘔吐下痢症がまだ多いようです。

ロタウイルス (-)

(春日町 丹羽医院)

23歳男 A型インフルエンザ

38歳女 B型インフルエンザ

52歳男 マイコプラズマ肺炎

(師勝町 田中クリニック)

尾張東部地区

溶連菌感染症、水痘、流行性耳下腺炎が多く、感染性胃腸炎は相変わらず多くみられます。

A型インフルエンザ(4名)がでました。

(瀬戸市 津田こどもクリニック)

今週からインフルエンザ急増しました。全てA型で幼児が多く(0歳もあり)学童にはまだみられません。家族内感染もあり(子供から親への感染)注意が必要かと思われます。

嘔吐、下痢は少し落ち着いたようですが、まだ流行続けております。

その他水痘も流行中

(尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院)

インフルエンザA

(半田市 医療法人林医院)

18歳女高校生 インフルエンザFluA(+)

(南知多町 医療法人大岩医院)

今週も感染性胃腸炎が多くみられました。

水痘もまだあります。

(春日井市 かちがわ北病院)

胃腸かぜやや減少してきました。

水痘少々あります。

インフルエンザ増加してきました。

10家族17人 全てA型です。(そのうち2人はワクチン接種済み)

(春日井市 朝宮こどもクリニック)

インフルエンザAが2人。感冒性胃腸炎つづく。

(小牧市 小牧市民病院)

百日咳の3例は同一家族でDPT未接種です。

インフルエンザは2人ともAでした。

(小牧市 志水こどもクリニック)

RSウイルス 3件

(東海市 東海市民病院)

2歳女 カンピロバクター腸炎

(東海市 小児科ハヤカワ医院)

A型インフルエンザ 35歳女 今季初です。

(大府市 まえはらこどもクリニック)

西三河地区

マイコプラズマ肺炎 1歳男、2歳女

RSウイルス感染症 3ヵ月女、7ヵ月男

(ディレクティジェンRS陽性)

A型インフルエンザ 4歳女

(エスプラインインフルエンザA&B:A陽性、B陰性)

病原大腸菌O1 3歳男

(豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック)

インフルエンザA 1歳女、2歳女、3歳男、13歳女、22歳女

感染性胃腸炎多し。

水痘、ムンプスも多い。

(豊田市 医療法人やふそ小児科)

10歳女 帯状疱疹

(岡崎市 医療法人深田小児科)

4歳女 マイコプラズマ肺炎

2歳男 病原性大腸菌O25

1歳男 ロタウイルス感染症

(岡崎市 花田こどもクリニック)

3歳女 病原性大腸菌O125 VT(-)

1歳女、3歳女、9歳女 病原性大腸菌O1 VT(-)

(岡崎市 にいのみ小児科)

7歳女、9歳男 マイコプラズマ肺炎

1歳男 アデノウイルス感染症 (チェックAd陽性)

水痘流行中

(幸田町 とみた小児科)

幼稚園が発表会ビデオどりのため水痘児の登園を許可してその園で流行

(知立市 宮谷クリニック)

インフルエンザ ABクイックA(+) 31歳女、3歳女

溶連菌感染症親子3名(STREPテスト陽性)

(西尾市 やすい小児科)

A型インフルエンザ3人(インフルABクイック)

感染性胃腸炎、水痘も依然見られます。

(西尾市 山岸クリニック)

東三河地区

インフルエンザA3人、全てインフルエンザワクチン2回接種済でした。

(豊橋市 あずまだこどもクリニック)

今週から急にA型インフルエンザがでてきました。

(蒲郡市 蒲郡市民病院)

1～3類感染症の発生状況（愛知県）

発生報告なし

全数把握の4類感染症の発生状況（愛知県）

発生報告なし

第49週(14年12月2日～12月8日)の4類感染症（全国）

定点把握の対象となる4類感染症（週報対象のもの）

急性出血性結膜炎の定点当たり報告数は少ないものの、前週同様、過去5年間の同時期に比べるとかなり多い結果となった。都道府県別では長崎県（0.8）の報告が多い。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は例年通り、冬の比較的小さなピークを迎えており、過去5年間の同時期に比べやや多くなっている。都道府県別では前週同様、秋田県（2.2）、佐賀県（1.4）からの報告が多い。他の疾患の定点当たり報告数は、過去5年間の同時期と比べて多くなってはいない。インフルエンザの定点当たり報告数が0.6とさらに増加し、都道府県別でも福岡県（2.6）が前週の約5倍となり、広島県（1.8）、埼玉県（1.5）、佐賀県（1.4）、大阪府（1.3）をはじめ、9都道府県で定点当たり報告数が1.0を超えた。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加を続けており、佐賀県（3.1）をはじめ17都道府県で2.0以上となった。感染性胃腸炎の定点当たり報告数（12.4）は小幅な上昇に留まったが、静岡県（22.9）をはじめ7割の都道府県で10を超えている。水痘は前週に比べわずかに定点当たり報告数が減少した。都道府県別では福井県（4.7）からの報告が最も多く、1.0を超えていない都道府県は山梨県（0.6）のみとなった。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続して増加しており、都道府県別では北海道（1.1）に報告数の2割が集中している。麻疹（成人麻疹を除く）は46週から微増しており、福島県（0.5）、青森県（0.5）、宮崎県（0.5）の3県で増加が見られる。細菌性髄膜炎（0.03）の定点当たり報告数は、1999年から2001年までの3年間の平均の2倍以上であった。流行性耳下腺炎は全国的には余り大きな変化はないが、秋田県（4.5）や岩手県（3.8）で定点当たり報告数が増加した。マイコプラズマ肺炎は特に青森県（3.0）からの報告の増加が目立った。

（Infectious Diseases Weekly Reportより抜粋）

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター - 感染症情報室提供）

詳細は感染症情報センター - のホームページ（<http://idsc.nih.go.jp/kanja/index-j.html>）の感染症発生動向調査週報をご覧ください。

愛知県感染症情報

2002年第1週～第51週(平成13年12月31日～平成14年12月22日)(累計)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	急性脳炎 (日本脳炎を除く)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	成人麻疹	
計	#####	391	5,120	#####	9,780	4,870	1,786	5,008	62	80	5,674	1,712	6,481	22	740	4	15	98	117	1	22	
～6ヶ月	209	3	7	347	252	28	10	446	14	3	61	41	5		7							
～12ヶ月	564	19	26	1,783	691	245	71	3,201	15	11	485	265	32		5							
0歳																	3	17	1			
1歳	1,764	62	126	4,381	1,783	996	112	1,274	14	17	1,517	410	309	2	22		2	3	5			
2歳	1,960	63	248	3,311	1,657	926	135	62	5	5	1,173	150	510	2	15			2	9			
3歳	2,086	66	529	2,929	1,858	992	208	5	3	3	953	134	1,006	1	14			6	7	1		
4歳	2,361	66	927	2,605	1,681	752	258	6	2	7	731	82	1,389		15			9	8			
5歳	2,197	41	921	2,043	941	458	280	8	2	9	379	80	1,088		11							
6歳	1,981	24	719	1,429	391	227	223	2	2	1	160	69	744		6							
7歳	1,970	19	506	1,137	170	101	192	1		2	86	74	460		9							
8歳	1,820	7	365	911	96	52	127	1	1	4	51	72	293		7							
9歳	1,710	9	218	721	61	23	78		1	2	16	56	166		6							
5歳～9歳																		34	38			
10歳～14歳	5,185	6	317	1,732	112	27	59	2	2	6	31	207	309	3	16	1		14	16			
15歳～19歳	1,153		26	530	12	2	2				8	30	28	1	33			3	5			2
20歳～		6	185	3,556	75	41	31		1	10	23	42	142			3	10					
20歳～29歳	1,134													4	107			5	7			16
30歳～39歳	1,464													4	181			4	11			3
40歳～49歳	465													3	74			1	4			
50歳～59歳	271													1	88				2			
60歳～69歳	173													1	70				1			1
70歳～															54							
70歳～79歳	78																		2			
80歳以上	39																		1			